



(総合的な生涯学習推進体制の整備と行政・大学・民間等の連携の充実)

京都府域における総合的な生涯学習の推進を図るため、京都府、市町村をはじめ、公民館、図書館等の社会教育施設、大学等の高等教育機関、地域の各種団体、関係民間企業とともに、生涯学習社会の実現に向けて連絡調整・情報交換等の連携の充実に努めます。

(教育機関、民間・各種団体等における生涯学習の推進体制整備)

府民の高度で多様な学習への関心に対応することができるよう、大学・短期大学、専修学校・各種学校等の相互連携を深め、連携組織の整備、充実に促進します。

「カルチャーセンター」など府民に対する多様な学習機会が民間の事業として提供されていますが、今後、府民の多様化・高度化する学習への関心に応えられるよう、一層、公的事業や民間事業等との相互連携の促進に努めます。

高齢者、女性、青少年、環境保全等の各種団体においては、生涯学習に関連した活動が実施されていますが、様々な課題に協力して取り組めるよう、相互の情報交換や連携の充実に努めます。

(行政における生涯学習推進体制の整備)

京都府が行う生涯学習を総合的に推進するため、各局にわたる推進体制の整備、連絡調整の一層の充実に努めます。

地域で府民一人ひとりが楽しく生涯学習を行えるよう、生涯学習モデル市町村事業、生涯学習のむら整備推進事業等を通して、市町村における生涯学習推進のための体制や生涯学習事業の取組を支援します。

また、市町村への指導・援助を充実するとともに、京都府と市町村の連絡調整の充実に努めます。



2 指導者の養成と確保

生涯学習は、文化・スポーツ活動をはじめ、趣味、レクリエーションなど、極めて多種多様であり、かつ高度化、専門化の傾向がみられます。こういった府民の学習活動やグループ活動を振興していくためには、身近な指導者の存在が重要であり、その養成を図っていく必要があります。

(1) 人材の活用

京都の伝統文化や伝統産業の関係者をはじめ著名な学者・文化人、様々な分野で活躍する女性、豊かな知識や経験を持った高齢者、京都に在住し様々な分野で活躍している外国人・留学生までを含んだ、京都らしい総合的な人材バンクを構築するとともに、これを活用し、府民が適切な相談が受けられるよう、人材情報提供・相談体制の整備を図ります。

また、人材に関する情報を蓄積する中で、市町村や生涯学習関係団体等での様々な生涯学習の取り組みに対して、助言や支援を行えるような、アドバイザーグループのような人材の活用の仕組みの整備について検討します。

(2) 指導者の養成と確保

学校週5日制の実施や女性の社会参加の増大、高齢化社会の到来を迎え、青少年・女性・消費者・高齢者等の多様な分野の指導者の果たす役割が大きいため、こうした指導者への研修機会の充実と支援を図ります。

また、府民の学習への関心や学習内容の多様化、高度化や専門化に対応できるよう、行政や大学等教育機関等と連携しながら、より専門的な指導者の養成や研修の充実に努めます。

更に指導者のそれぞれが持つ専門性、経験、知識、技術等を十分活かせるよう、交流の機会の充実を促進します。